

豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.54)

1. 豊田PCB廃棄物処理施設の運転状況について

豊田PCB廃棄物処理施設(豊田施設)の9月の処理実績は、下表のとおりです。

9月は中旬まで夏期定期点検、設備の立ち上げを実施していたため、いつもの実績数と比べて受入台数、抜油解体台数ともに少なくなっています(後述「3. 夏期定期点検等の実施及び完了について」参照)。

今月号の運転状況の紹介として、受け入れた小型トランスとコンデンサの写真を掲載しました。

20年9月の操業実績

種 別		受入台数	抜油・解体台数
コンデンサ類		197 台	176 台
トランス類	大 型	2 台	2 台
	小 型	9 台	14 台
	車 載 型	1 台	1 台
廃PCB等		0 個	0 個

※ 受入後、一時保管してから計画的に処理ラインに投入するため、受入台数と抜油・解体台数に差が生じます。



受け入れた小型トランス



受け入れたコンデンサ

2. PCB廃棄物の10月の受入計画

20年10月の受入計画(予定)

種 別		受入台数
コンデンサ類		372 台
トランス類	大 型	4 台
	小 型	27 台
	車 載 型	1 台
廃PCB等		1 個

10月のPCB廃棄物の受入計画は、左表のとおりです。

コンデンサ類は、少量保管事業者(保管台数が20台未満の事業者)を中心に、豊田市内の事業者から22台、愛知県内から321台、静岡県内から29台を受け入れる予定です。

大型・小型トランス類は、愛知県内から12台、静岡県内から19台、車載型トランスは静岡県内から1台を受け入れ、ドラム缶に入っているPCB油(廃PCB等)は、愛知県内から1個を受け入れる予定です。

3. 夏期定期点検等の実施及び完了について

今回の夏期定期点検は、8月22日から操業に係る施設を停止させ、8月25日から9月10日までの間、①受入・払出設備 ②抜油・解体設備 ③洗浄設備 ④PCB無害化処理設備等を点検しました。

点検後は設備を順々に再起動させて、安全に稼働できることを確認し、9月15日から処理を再開しています。

また、夏期定期点検中に修繕工事も行い、設備の健全性を向上させました。

設備の安全性・健全性を保つために、今後も継続して行ってまいります。



真空加熱装置の制御盤に対する定期点検

4. 安全への取り組みについて



SD漏洩対策訓練の状況(吸着剤の使用)



安全セミナーの実施



安全の日における訓辞



分析室におけるパトロール(整理整頓の確認)

(1) SD漏洩対策訓練の実施

9月17日、異常時の対応訓練の一環として、「SD受入室にて送液中のSDが漏洩した」という想定のもと、訓練を実施しました(SDは実際には使用せず模擬)。

SDはPCBを無害化させるための薬剤ですが、これは金属ナトリウムを微粒子にして鉱物油に分散させたものであり、水に触れるとナトリウムが反応して熱を放出し、発火するおそれがあります。

このため、対応手順を誤ると大きな災害が起こりうることから、SDを吸着させるための吸着剤の使用、発火防止のための防火シート使用等緊張感を持って訓練にあたりました。

万が一のための訓練ではありますが、このようなことが実際に起こらないよう日々最善をつくして業務にあたり、安全なPCB処理を行ってまいります。

(2) 安全セミナーの実施

現在、豊田施設では大きなトラブルもなく安全な操業を継続していますが、一方で気の緩みが生じやすくなる可能性もあります。

そこで、平成17年11月に発生したPCB漏洩事故の詳細を再確認し、安全に対する意識をより強化する等のために、9月19日に『PCB漏洩事故の原因とその対応策』についてセミナーを実施しました。

豊田施設の社員一同は、このセミナーにより、あらためて二度と事故を起こしてはならないという強い気持ちを抱くと共に、作業手順、安全確認等の大事さを再認識いたしました。

(3) 夏期定期点検中におけるパトロール

定期点検期間中は、点検作業が安全に行われているかを確認するためにパトロールを行っています。

今回の夏期定期点検においても、①処理棟内において高所での安全帯の着用等安全に点検作業を行っているか、②PCBの汚染防止を講じているか、③熱暑厳しい中での作業のため熱中症対策は万全に講じているか等を念頭に、週1回計3回実施いたしました。

今後も点検期間中のパトロールを継続します。

(4) 安全の日

豊田施設では毎月21日を『安全の日』と定め、まず朝の勤務前に一堂に会し、所長等から社員に向けて①報告・連絡・相談のスピードアップの向上、②チームワークの徹底等の訓辞を行っています。

また、安全の日には安全衛生パトロールを行っており、9月は分析室や屋上を中心に実施しました。

パトロール中に是正点、改善点が見つかった場合には、担当者へ直ぐに対策を施すことを命じ、その効果や結果については速やかに確認し、常に施設内の安全に注意しています。

連絡先

日本環境安全事業株式会社(JESCO)

(連絡先) 豊田事業所 0565-25-3110

【豊田事業HP】 <http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>